

レポート第1号(2025.11.06) 人口減少の真実(その1)

今回のポイント

将来の人口推計について、
総人口ベースで増減を分析すると、一番重要なポイントが見えてこない
年齢階級別に分析することで、人口減少の真実が見えてくる

※ 本レポートにおける将来人口の推計値は、国立社会保障・人口問題研究所が 2023 年 4 月に公表した「日本の将来推計人口(出生中位・死亡中位)」による。

総人口ベースでは、10年後に人口は5%減少し、20年後に12%減少する

単位：千人	2025年	2035年	2045年
総人口	123,262	116,639(-5%)	108,801(-12%)

問 それでは20歳～64歳の人口も20年後に12%減少するのか？

答 いえ、それ以上に大きく減少します。

20歳～64歳の人口は、10年後に8%減少し、20年後には20%減少する。
つまり、平均すると毎年1%の関係人口が減少することになります。

この試算は正確なのか？という疑問をお持ちの方もいらっしゃるでしょう。

ですが、20年後の20歳～64歳の人口構成は、2025 年時点の0歳～44歳の方の人口構成を基にかなり正確に推計が可能です。

※ 死亡率が大きく変動することは、あまり想定されません

単位：千人	2025年	2035年	2045年
20 - 64 歳	67,659 (55%)	62,577(-8%) (54%)	54,358(-20%) (50%)

下段の括弧内の数値は全人口に占める割合

問 65歳以上の高齢者(≡年金受給者)の人口も減少するのか
 答 減少しません。20年後には今よりも8%増加します

65歳以上の方の人口は10年後に3%、20年後には今より8%増加します。
 本人口推計も、現在45歳以上の人口構成を基にかなり正確に推計可能です。

単位：千人	2025年	2035年	2045年
65歳以上	36,529 (30%)	37,732(+3%) (32%)	39,451(+8%) (36%)

下段の括弧内の数値は全人口に占める割合

つまり、我が国の労働力の中心となり、社会保険料を負担する20歳～64歳の人口は20年間で20%減少するのに対して、年金受給権が発生する65歳以上の高齢者人口は20年後に8%増加します。

そして、20歳～64歳の方の一人に対応する、65歳以上の人数は、
 2025年は0.54人、2035年に0.60人、2045年には0.72人へと急増します。

これから日本社会に起きる、労働力人口の急減と、高齢者人口の増加の同時進行は、社会構造に過去にない大きな歪みをもたらします。例を挙げてみましょう

- ① 介護施設で起きる、介護士数と要介護者数のミスマッチの拡大
- ② 社会保険料負担者の負担増は不可避(医療費＋年金)

■ 改めて申し上げます。

10年後、20年後の20歳以上の人口構成はかなり正確に推計が可能です。
 経営者は、これにより市場構造の大きな変革の予測が可能になります。

因みに、本リポートでは議論を単純化するため、3つの年齢階級に大括りしてご説明しましたが、国立社会保障・人口問題研究所の公表データを活用すれば、
年齢階級は5歳単位(男女別)で、2025年から5年ごとに2070年までの推計値が取得できます。

特に、20年後くらいまでは、出生率の影響を受けずに20歳以上の人口構成を推計できるので、かなり詳細な人口モデル(≡市場規模)の策定が可能です。

■ ビジネスの方向性

貴社の商品・サービスの市場規模が人口に比例するものであれば、商品等の高付加価値化を図らなければ、20歳～64歳向け市場規模は、20年後に20%縮小します。一方、高齢者向けの市場は今後、拡大します。

これは貴社にとって、ピンチにもチャンスにもなり得ます。

このチャンスを活かすためには、中長期的に

- ① 高齢者向け商品・サービスの充実と販売強化
- ② 富裕高齢層向けに高付加価値商品・サービスの充実と販売強化

などが重要になるのではないのでしょうか。

「言うは易く行うは難し」ですが、今後の市場構造の変化が確実に起きるとすれば、時間をかけてでも徐々に市場構造の変化に対応していくことが必要でしょう。

■ 最後に、0歳～19歳までの人口の変化を見てみましょう。

国立社会保障・人口問題研究所は、10年後に14%減少し、20年後に21%減少すると予測していますが、この予測値は20歳以上の人口推計とは異なり、大きく出生率に依存します。

※ 出生率の予測は大変難しく、大きく変動する可能性があります。特に最近の出生率は顕著な低下傾向を示していることに留意が必要です。

単位：千人	2025年	2035年	2045年
0－19歳	19,074 (15%)	16,330(-14%) (14%)	14,992(-21%) (14%)

下段の括弧内の数値は全人口に占める割合

【参考：全体像】

	2025年	2035年	2045年
総人口	123,262	116,639(-5%)	108,801(-12%)
0－19歳	19,074 (15%)	16,330(-14%) (14%)	14,992(-21%) (14%)
20－64歳	67,659 (55%)	62,577(-8%) (54%)	54,358(-20%) (50%)
65歳以上	36,529 (30%)	37,732(+3%) (32%)	39,451(+8%) (36%)

下段の括弧内の数値は全人口に占める割合

予告： レポート第2号(11 月末掲載予定) 人口減少の真実(その2)

次回のポイント

年齢階級別の人口推計を採用しても、日本全体の人口推計を分析対象とすると、貴社に關係する地域の市場動向を正しく分析できない恐れがある。

分析対象地域を限定し(都道府県又は市町村単位)、地域毎の将来推計人口を用いることで、より貴社にカスタマイズされた営業戦略が策定できる。